

「工場の今」を瞬時に把握 ～リアルタイムの見える化で課題発見による改善を実現～

データドリブンなものづくりで変化に強い生産体制を構築

製造業は人手不足、技能継承、コスト高騰などの課題に直面し、デジタル化が解決策として注目されています。富士通フロンテック新潟工場では、10年以上にわたりデジタル技術を活用した現場の見える化と改善活動に取り組んでまいりました。
現場実践で作り上げたシステムと実際に取組んできたノウハウでお客様の課題解決を支援します。

デジタル技術を活用した製造プロセス の効率的な課題解決

■ こんな悩み・問題ありませんか？



紙と手書き帳票
による記録・管理が
いつまでも無くせない



現場の状況(進捗・トラブル・
工数等)がリアルタイムで把握
できず問題の発覚が遅れる



生産変動による工程変更
作業者の多能工化と管理
に工数が掛かっている

■ 課題解決の主な機能



電子チェックシート(タブレット)

タブレットを使った電子チェックシートにより、作業指示・
チェック・機歴管理・障害管理などをデジタル化

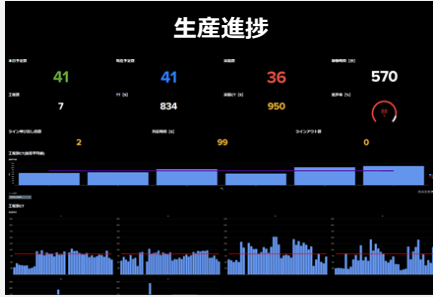


ダッシュボードによる現場状況の見える化

タブレットからのデータをリアルタイムで集計・分析し
現場をダッシュボードで見える化

現場状況の見える化

現場状況の見える化、改善すべき課題をタイムリーに把握することで継続的に改善活動を支援



- ・ライン／セル単位で当日の生産計画に対する遅れ／進みをリアルタイムで見える化



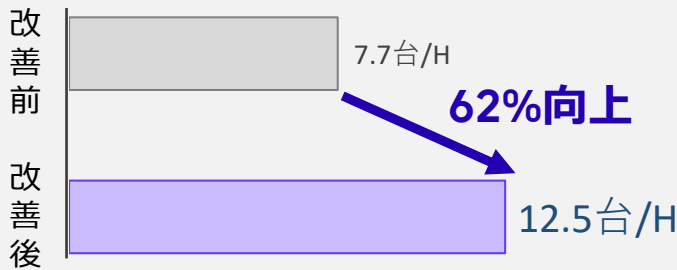
- ・機種、図番毎の作業実績工数が見える化
- ・ボトルネックになっている工程や作業を速やかに特定し改善へ



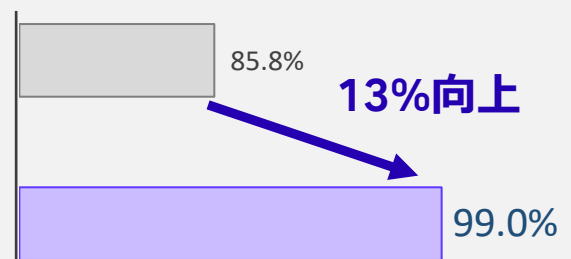
- ・多能工/習熟率に対しスキルレベルを数値管理にて定量化
- ・スキル状況を可視化し一人一人の強み/弱みを把握し成長を促す

改善効果（弊社実績）

■ 生産性 ※1時間あたりに1人ができる作業量



■ 直行率



現場管理者

ライン毎の遅れ進みだけでなく、なぜ遅れたのかの原因がすぐに特定できるので素早く対処できるようになり、生産性・直行率ともに大きく改善した。管理業務も減り、改善活動といった付加価値を高める業務に集中できる。



現場作業者

久しぶりの作業も動画や画像で作業手順を確認できて便利。自分のスキルも見えるようになり、正しい評価をしてもらえてモチベーションアップにもなる。

本取り組み内容は、富士通フロンテック株式会社公式HP、YouTubeでもご紹介しております。



お問合せ先

当社のものづくりDXに関して気になることがございましたら、是非お問い合わせください。

富士通フロンテック株式会社 お問い合わせ窓口

<https://info.frontech.fujitsu.com/inquiry/form/impro/business>

